

令和5年度外部評価
「サービス評価総括表」

小規模多機能型居宅介護
やわらぎいくし村

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	有限会社やわらぎ	代表者	寺川勲雄	法人・事業所の特徴	・有限会社やわらぎとして、松山市、東温市にグループホームを4事業、小規模多機能型居宅介護事業を2事業、介護保険外サービスとして、市内に高齢者向けの賃貸住宅の運営を行っている。小規模多機能型居宅介護やわらぎいくし村は4階建ての3階部分で同一建物内の2階がグループホーム、4階が高齢者向け賃貸住宅、1階には内科・循環器内科専門の病院(別法人)が併設。同一敷地内には、NPO法人SORA精神障がい者の就労支援事業所と新たに地域の学童の放課後の居場所作りを目的としたくりた子どもひみつきちを開設している。要介護者を対象とした登録定員を18人、通い定員を12名、宿泊を6人。久万ノ台の小規模多機能居宅介護事業所を本体としてサテライト運営を行っている。住み慣れた地域での在宅生活の支援として、お一人おひとりの利用者、ご家族の意向や生活環境、身体状況等を踏まえて、必要なサービスの提供に努めている。今年度はケアの本質の見直しをするべく、法人で令和5年度はユマニチュード育成研修を計画的に受けて実践につなげている。利用者との関係性、機能維持、心身ともてる力を生かせるような介護計画と実践を重ねて行けるよう、職員一丸となってケアに取り組む姿勢を大切に考えております。職員の質の向上のため、参加した研修の学びを職員間の共有の場として毎朝、3分間研修を行って8年目になりま
事業所名	(本体) 小規模多機能ホームやわらぎ (サテライト) 小規模多機能型居宅介護やわらぎいくし村	管理者(本体) 施設長(サテライト)	越智美代子 田村富美子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	人	人	人	1人	2人	1人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	◎事業所改善計画の進捗状況を半年に1回行い、実施できていないものやできないものは修正を加える。	改善計画の進捗状況の振り返りは半年に1回は出来なかったもので、項目別の計画によってはより達成可能な目標を立ててはいたので、早い段階で達成できたものもあるが、目標そのものに準備を要するものや意識ができていないものがあり、項目が多いのも理由に上がる。	<ul style="list-style-type: none"> ・できている できていない点は大体同じように思われます。自己評価はできていると思います。今後どうしたら改善できるか詳しくほり下げてみては。 ・夜勤専従の方も含め全員で評価を行っているが、夜勤専従の方は分かりづらい事が多いと思う。 ・スタッフ全員で共有しようとする姿勢が伺えます。努力されていると思います。 ・持ち上げない介護について福祉用具を活用しながら職員間で学習する時間を作り、行っていることは利用者、職員の負担軽減につながるため、今後も続けて行って欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎利用者おひとりお一人に必要なケアについてチームでユマニチュードの哲学や技術の学びを進め、統一したケアを行う。 ・毎日のご利用者とのより良い出会いからケアを行う。 ▶目線を合わせる。▶そっと体に触れる。▶話しかける ・ご利用者の機能を活かしたケアを行う。 ・毎月のスタッフ会で振り返りを行う。

			<ul style="list-style-type: none"> ・項目別に改善計画を立てているが、まとめて一つ大きな目標に絞って取り組んでもいいのかもしれない。 	
<p>B. 事業所の しつらえ・環境</p>	<p>◎コロナ感染対策の継続はしながらも戸外、建物4階のベランダの活用をして行事を行う。</p>	<p>感染対策として、三密回避ができる4階のベランダで行事を行う予定にしていたが、行うことが出来なかった。細々とではあるが、野菜や花を育てたり、職員が自宅から季節の花や野菜を持ってきたりして、日常に季節を感じてもらおうようにした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナが5類に移行して、ご家族、関係者の出入りをして頂く様にしたが、コロナか前の日常のようにはいかなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所へ訪問したことがなく申し訳ありませんが、分からない箇所については「わからない」との回答をしました。引き続き居心地のよい空間作りに努めていただけたらと思います。 ・コロナ禍で、運営推進会議が長い間文書開催であったことや今回出席させていただく者が今回初めての出席であるため評価が出来ませんでした。今回の訪問時に確認させていただきたいと思っております。 ・「しつらえ」の意味がわかりません。 ・家庭的でよいと思います。 ・入所者の安全に配慮して頂けている。 ・施設内に入ることができないため、わからないことが多いです。 	<p>◎季節を感じる環境をつくる。(食事・季節の花・外出)</p> <p>◎事業所の空きスペースを活用してくつろげる空間をつくる。</p>

C. 事業所と地域のかかわり

◎小規模多機能居宅介護サービスの案内と利用状況などの情報を地域へポスティングする。

利用問い合わせや見学などは感染対策を取りながら行えたが、地域へのポスティングは出来なかった。コロナとインフルエンザの同時流行などで事業所では感染はなかったが、関係者などの感染なども含めて目標達成には至らなかった。

・コロナが5類に移行してから地域行事が復活してきており、それらに可能な限り参加されていることが伺われます。情報に関してはポスティングだけでなく、それらの行事参加時に配布されると良いと考えます。

(既にされているかもしれませんが。)

・コロナ禍で交流が難しい中、地域との連携が取れていると感じました。今後も積極的に

交流し、地域の方からの聞き取りも続けて頂けたらと思います。

・よくわからない
・すこしずつではあるが敬老会ボランティアの来所や提灯行列、御神輿に入ってもらう等、地域との交流が戻り、地域交流することができて良かったと思う。

・地域とのかかわりもきちんとされている。

・地域でのかかわり方はわかりませんが個人的にはいつも相談しています。

・今後、少しずつ地域の方と交流する機会が増えていくと思う。

・地域イベントが多いと刺激になるので家族も嬉しいです。

◎同一敷地内にある事業所や地域の方と交流の場を設け、地域の実情や各事業所の運営などについて知っていただく機会をつくる。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>◎スタッフ会にて再度エコマップについての勉強会を行い、作成した物の見直しを行う。</p>	<p>手書きで作成しているものを利用した。個別の利用者を取り巻く関係など、修正が必要な箇所はその都度行うようにした。勉強会も資料と、実際の利用者の作成したエコマップを活用して、毎日3分間研修で行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の方を取り巻く関係者（看護師、福祉用具貸与事情所）と情報交換、連絡、連携しサービス担当者会で新たなことが気付き、取り入れること等が出来ており、質の良い会議を行われていることが分かった。 ・できていると思う。 ・エコマップがわかりません。コロナ禍もあり、どのように取り組んでいたかわかりません。 ・いくし村から地域へ事業所案内や利用状況を発信すること、地域の方との挨拶、地域の方に知られている。地域の行事にイベントに参加をする中で事業所の利用者以外の地域の心配な方に事業所が関わることができれば運勢推進会議で地域の心配な方の事例検討へとつながっていくと思う。 	<p>◎地域包括支援センター主催の地域ケア会議に参加して、事例検討を通して個別の実情や地域資源などの活用等について学ぶ。</p>
--------------------------------	---	--	---	--

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>◎運営推進会議に参加していただく方が減少しているの で、新規に参加、協力を得られるように地域へ働きかける。</p>	<p>5月にコロナが5類に移行してから、対面での運営推進会議の開催をするようになった。但し、事業所内では3密回避が難しいため、同一敷地内の別の場所を活用して行うようにした。ご利用者の参加はまだ見合わせている。コロナ禍前のようにはいかず、少人数での開催となっている。地域行事の参加が少しずつできてきたのと事業所へ足を運んでもらうこともできた方もおられるので、繋がりを絶やさないようにしていきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・どうすれば地域の方に運営推進会議に参加して頂けるか地域の方にお聞きしてみたい。 ・資料の内容が詳しく丁寧に書かれているため、取り組みや活動内容がわかり易いです。 ・地域密着型サービスは地域との連携を目的に運営推進会議を開催することとなっていますので、引き続き2月に1回の開催をお願いします。また、会議を通して、地域に開かれたサービス提供をお願いします。 ・よくわからない。 ・様々な意見を活かして取り組まれている。 ・もう少し活発になるといいなと思います。 	<p>◎新玉地区の行事に参加して交流を深め、事業所を知っていただく機会を増やす。※「防災訓練」「文化祭」「運動会」等。</p> <p>◎会議の中で地域行事の日程や参加の有無、報告を行う。</p>
--------------------------	--	---	--	---

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>◎感染対策を行いながら、地域の方も参加していただける計画をし実施する。</p>	<p>年度末になって慌ただしく避難訓練の実施を計画することになり、地域の方に参加していただく機会が作れなかった。日常の災害への訓練で伝言ダイヤルや緊急連絡網の活用なども行っているが、事業所内だけにとどまった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時においては、地域との連携が重要であると考えます。できるだけ地域の方々との連携に務めていただけたらと思います。 ・非常災害対策計画だけでなく、災害時における業務継続計画の策定についてもご準備いただけたらと思います。 ・地区か町内の防災訓練、大会に参加や特別会計残高を防災費あてるなど意識されていることがわかります。 ・職員への周知、定着のために毎日の3分間研修にも防災についての内容を入れていかれるとよいかと考えました。（既にされているかもしれませんが・・・） ・事業所主催の防災祭りの開催などができれば地域の方をまきこんでの弱者の視点から考える防災へつながるかもと考えます ・どのようにしているかわからない。 ・よく考えていると思う。 ・参加したことがないため、わかりません。 ・地域の避難場所として機能できたらと思う。 	<p>◎コロナ禍に実施できなかった地域、他事業所、ご家族が参加して頂ける防災訓練を実施して事業所の実情を踏まえて、災害への対応、備えについて認識を深める。</p>
----------------------------	--	--	--	---

令和5年度外部評価
「事業所自己評価」

小規模多機能型居宅介護
やわらぎいくし村

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年 10 月 18日 (9:30 ~11:00)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	管理者1名、介護支援専門員2名、介護職員9名 (※サテライト事業所として自己評価対象職員10人)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか?		7人	1人	2人	10人

前回の改善計画

・月1回のスタッフ会でプラン更新の利用者から周知する。スタッフ会に参加できない職員へはモニタリング記録用紙に職員名を記入した付箋をつけておき、確認ができた職員は付箋を所定のところへ貼る。全利用者分のライフサポートプランのファイルに紐づくようにしておく。目通し後は付箋を外す。(チェック表を作成したこともあったが、記載が途切れたため。)

前回の改善計画に対する取組み結果

更新したプランの説明は朝の申し送りやスタッフ会の時に職員周知を図った。しかし、職員によっては直接、説明ができていない場合もある。確認のチェックの為に所定の場所に付箋を貼るようにしたが、とりあえずやれることから始めようと取り組んだが続かなかった。改善計画としてはあげていなかったが、前回のプランと更新したプランの内容については、変更した箇所を赤で印字して周知を図ったのは伝わりやすかった。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
① 本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		8人	1人	1人	10人
② サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		8人	1人	1人	10人
③ 本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?		8人		2人	10人
④ 本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		7人	1人	2人	10人

できている点

200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・利用者本人に対して親身に向かい合って説得もできるようになり、互いに共有できるようにしている。
- ・朝の申し送りの時にある程度の情報は得ているし、わからないことは聞くようにしている。
- ・ご本人がまだ慣れていない時には積極的に声掛けをしている。
- ・3分間研修の時間を利用してライフサポートプランの周知を行えている。新しい情報の共有も関わりの中で知れたことを伝達できている。
- ・見学、相談時に利用者本人の情報収集とご家族の意向等と事業所が行えることをすり合わせてしながら、ご本人、ご家族、事業所が担うことを話すようにしている。利用開始時に必要なことも、ご本人とのコミュニケーションを図りながら徐々に勧めるようにしている。
- ・朝の申し送りでの利用者様の情報など共有できている。
- ・前の担当者に分からない事は聞いたり、ケアプランを読んで理解している。
- ・利用者を支えるために、何が必要で支援できているか記録に残す。ライフサポートプランの見直しを周知する。
- ・本人の情報やニーズについては、利用が始まる前に事前にできるだけ把握するようにしている。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・直接家族と面談を受ける訳にもいかず、必要と思う支援以外はできていない。（悩みや不安等のお話を伺った上で内容によっては伺いを立てることがある。） ・訪問や通いに関わっていないので状況が分かっていない。 ・スタッフ会に参加できていない時、その後のスタッフ会の記録等の確認ができていない。（スタッフ会に出席しなかった時のスタッフ会への意識が薄い。後回しにしているため。） ・事業所が行う必要な支援が現場に十分伝わらず、特に通いサービスの中で、日々行うケアにつながっていないこともある。（全職員への周知の確認不足。） ・共有してからの支援（申し送りに参加できていない事が多い為。自分で記録の入れる端末から申し送りを読み分からない事は他の職員に聴くようにはしている。） ・ミーティングで夜間の様子を聞いているけれど、覚えきれない。（集中力が消えている。複数の利用者さんがいるので全て覚えるのは難しい。） ・家族、介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮ができていないと思う。（こちらの方から声掛けをなどがしにくいので。） 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・フェイスシートやアセスメントシートに利用開始時に関わり得た情報を記入しやすい様式を加えて活用する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 10 月 18日 (9:30 ~11:00)

2. 「～したい」の実現
(自己実現の尊重)

メンバー 管理者1名、介護支援専門員2名、介護職員9名
(※サテライト事業所として自己評価対象職員10人)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか?		7人	2人	1人	10人

前回の改善計画	
・ケアプランの内容の達成度がわかりやすいように%で表わし、評価した達成度で支援内容の再検討を行う。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
ケアプランのモニタリングの書式の修正をし、達成度が分かるように0・30・50・70・100%で行った。100%にならないものはその理由や今後の対応や課題につながりやすかったと思う。	

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
① 「本人の目標 (ゴール) 」がわかっていますか?		8人	1人	1人	10人
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		6人	2人	2人	10人
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		5人	3人	2人	10人
④ 実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		6人	3人	1人	10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者本人が直接、やってみたい、努力したいと言った意向に直接興味を示すようになった。 ・朝の3分間研修で気付いた事は発言、対応できているよ思っている。 ・ケアプランのモニタリングで100%の達成度を目指し支援内容を強化している。 ・ご本人の希望があり、1週間の中で家族の協力の元、実施できていることに対して事業所では、歩行練習、運動を実施している。ご本人にも、目標のためにとしっかりお伝えをして職員も目標達成の維持の為に支援できている。 ・実施するプランの内容についてはスタッフのモニタリング等で評価できている。支援の修正についてもすり合わせを行っている。 ・本人がしたいこと、やりたくないことなどを理解し、それに応じて対応する。 ・できるだけコミュニケーションを取っている。 ・ご本人の目標に沿って安全にゆっくり過ごしてもらえるように関りができている。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・～したい、やる気が全く意思がなく、さっそく目標を立て徐々に振り向く形ができてくる。(本人が～したいと言った願望を持たず、職員と同様に生きがいを感じさせる方向性を試みることができていない。) ・ミーティングに参加できる回数が減少したので対応等のことは発言する機会が少なくなったと感じる。(日中の業務の関係で参加できていない。) ・月1回のスタッフ会に参加できていない職員への周知が確実にできていないこともある。(利用者個別の担当職員は担当している利用者、直接ケアを行っている職員、それぞれ職員のプランへの意識が異なる。ケアマネからの確認もできていないこともある。) ・「～したい」の日々のかかわりでは、家庭の都合で勤務日数が少ないことが多いので関りが少ない。(振り返りがなかなかできないので、必要な支援に結びついていない為に残存機能を生かしていない時がある) ・入職して1年半くらいなのでご利用者が利用開始からどのくらい事業所が関わって来たかの経緯を把握できていない。 ・利用者さんが～したいことがなかなか取り込んでいない。(まずは利用者さんのことごとを知る。ケアプランの見直しに関わる時間をつくる。) ・当面の目標や目指した日々のかかわりは利用者にとってできていたり、できていなかったりする。(担当以外の利用者さんのケアプランの目標や課題が十分把握できていない。忙しいのでなかなかできない。) 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>月1回のスタッフ会に参加できない職員が議事録の目通し後に記入した意見は、会議後の1週間内にその都度、朝の申し送りで報告し、内容によって検討し実施に繋げる。次月のスタッフ会で再度報告する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 10 月 18日 (9:30 ~11:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 管理者1名、介護支援専門員2名、介護職員9名
(※サテライト事業所として自己評価対象職員10人)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか？		3人	4人	3人	10人

前回の改善計画	端末の個別記録の「特記事項」を月1回の自宅訪問時の記録として活用し、朝の3分間研修の時間を活用して職員へ周知する。得た情報など必要に応じてアセスメント、エコマップへ記す。
前回の改善計画に対する取組み結果	個別の利用者の記録の特記事項を月1回の自宅訪問の記録として活用してきているが、職員に申し送りで確認してもらうように伝えたが、ケアや職員自身が行う申し送り記録に追われてそこまで目通しができない状態。申し送りに全て記入する方が伝わりやすいと感じた。必要に応じてエコマップへ記すことも手書きで訂正や情報を加えた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？		2人	7人	1人	10人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？		9人		1人	10人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	1人	4人	3人	2人	10人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	1人	8人		1人	10人
⑤	共有された本人の気持ちや対象の変化に即時的に支援できていますか？		5人	3人	2人	10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活をしている中で体調が異なる場合があるが、本人なりの生活リズムに合わせた支援は行き届いていると思う。 ・朝の申し送りで気付いた事は話し合えていると思っている。 ・それぞれ利用者さんに合わせた食事や排泄の介助はできている。 ・ミーティングに参加した際は、本人の希望や情報など発信するよう心がけている。 ・即時的に必要な対応は共有、周知できている。本人の気持ちや体調変化への気付きの共有と対応についても具体的に伝えて、その結果や変化を確認している。 ・本人の状況に合わせて必要な入浴、食事、排泄等の支援はできている。 ・本人様の変化、気付きは理解し、それを声として言える。 ・本人の状況、様子を確認しながら支援ができています。本人の気持ちや体調に寄り添うことができています。 ・本人の状況に合った基礎的な介護は何とかできていると思う。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・日々生活している中でやる気のなさを如何にして機動させるかを自分自身でよく検討する。（ミーティングにおいて本人の声にならない声を発見できるよう努力を重ねていない。） ・本人の自宅での事は分からない。 ・自宅での「以前の暮らし方」が10個以上把握できていない。（情報などの周知ができていない。） ・長く利用されている方でも以前の暮らし方の把握ができていない。（情報を忘れてしまっていたり、今の生活が長くなり、現状維持に集中してしまっている。） ・全職員へ周知をしたつもりではいるがもれていたり、伝えたつもりでいて確認を怠っているときがある。（確認不足） ・本人の気持ちや対象の変化に即時的に支援ができていない。（職員間で話し合うことはできると思うがなかなか自分なりの自分なりの支援法など考えつかない時もある。） ・プランの内容が十分把握できておらず、支援はどこまでできているか分からない。 ・本人の自宅での暮らし、生活環境が把握できていない。（情報収集意識した関わりが持てていない。フェイスシートやアセスメントシートの内容の把握が十分できていない。） ・本人の声にならない声をチームでミーティングで伝える事ができていない。（自分の思い過ごしかもしれない。おおげさではないかと思ってしまう。） 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>申し送り記録の記入方法でケアプランに繋がる情報は、★をつけて一目で分かるようにし、モニタリングの様式の気付きの欄に担当職員が転記するようにする。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 10 月 18日 (9:30 ~11:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 管理者1名、介護支援専門員2名、介護職員9名
(※サテライト事業所として自己評価対象職員10人)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?		1人	2人	7人	10人

前回の改善計画	エコマップをパソコン処理して入力し易いようにする。(パソコンに慣れない職員はできる職員が担う。負担にならない程度にパソコンの操作を時間がある時に少しずつ覚える。)
前回の改善計画に対する取組み結果	今年度も手書きのエコマップのままになった。介護業務を行いながら、パソコンを使うこともままならない職員が殆ど。エコマップ作成はケアマネが行い、情報を職員から聴き取り、修正および情報を加える作業の方が少しでもプラン等に繋げていけるように感じた。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		5人	3人	2人	10人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		5人	3人	2人	10人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		4人	4人	2人	10人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		1人	2人	7人	10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の暮らしの中で、エコマップを活用して地域の方などの資源の繋げていけるとは思えない。コロナが原因で人間関係も左右された。エコマップが共有しなくても、お互いに共有し合って支援に必要な関係は導いていけてると思う。 ・以前よりはコロナの状況も落ち着いてきているので家族との関わりも出てきて、家族と本人の関係維持の為、情報伝達など心がけている。 ・地域資源の活用については利用者によっては新たな資源の活用につながった方もいる。 ・本人が事業所に来られていない時は会話の中でどんな風に過ごされていたかを聞く。 ・ご家族、本人様の話を聞いて理解している。 ・他の人と会話したり、利用者さんが過ごしやすいように関係ができている。 ・利用者のご家族は気がついたことがあったら、割りとは何でも言い合える関係性ができていると思う。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・昼間が分かっていない為、自宅の過ごし方等がわからない。（夜勤専従の為） ・自宅での過ごし方を把握できていない。（情報が）少ない。 ・パソコンを使用する業務がほとんどできていない。（うまくパソコンを使いこなせずできていない。） ・コロナ禍で形式的なものにとどまっている。家族との関係性においても事業所が一度担ってしまうとご家族の出番に戻せない。（コロナ禍で過ごせていた家族との時間が元に戻し辛くなっている。事業所自体もコロナ禍前に完全には戻せていない。） ・本人の生活の全体像、特に人間関係が把握できていない。（ご利用者やご家族との会話の中で聞き取りができていない。） ・民生委員は知らない。関係が切れないようにどう支援していいか理解していない。 ・本人に今、必要なもの、本人がどのように過ごしているのか把握があまりできていない。（本人の状態や行動を細かく記録ができていないので状況がわかり辛い。） ・本人の今の暮らしに必要な民生委員などの把握ができていない。（介護の中であまり必要性がないため。）

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>地域資源とエコマップについての勉強会をする。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 10 月 18日 (9:30 ~11:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 管理者1名、介護支援専門員2名、介護職員9名
(※サテライト事業所として自己評価対象職員10人)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?		2人	1人	7人	10人

前回の改善計画	・新しく敷地内に就学前の子供たちが週1回数時間利用できる場ができ、コロナ禍でお互いに行き来や交流ができるか相談をし、一つでも進めてみる。
前回の改善計画に対する取組み結果	・敷地内の「くりた子どものひみつきち」を利用する就学児との交流はコロナ禍でできていない。行事等の誘いもあったが取りくめなかった。コロナが5類に移行したが、インフルエンザ等の感染症もあり、状況をみながら今後に繋げるようにしたいと思っている。状況をみながら、子どもさんにも事業所に来てもらうようにしたいと考えている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?			4人	6人	10人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2人	6人		2人	10人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1人	5人	2人	2人	10人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2人	5人	1人	2人	10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・本人の状態によってできることは一職員として積極的にすることで、個別の利用者の機能の維持に繋がっていると思う。 ・本人の変化があった時はミーティングや申し送り等で共有で来ている。 ・口頭やメモなどを使用して、申し送りや情報交換がスムーズにできるように努力している。 ・事業所が行う必要なケアや対応はほぼできている。地域行事にはやっと交流が再開した。(地区の総会・地方祭・敬老会でハーモニカ演奏のボランティアに来ていただく。) ・本人の状態に合わせた支援。 ・自分なりにできている。 ・本人の状態、様子を見ながら、どんなふうに対応できたらいいか共有できる。本人の変化に気づき、ミーティングで共有できている。 ・日々のかかわりから、本人の変化に気づき、ミーティング等で共有できていることが多くなった。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・日々のかかわりに於いては、訪問、宿泊に於いてもニーズを適切に対応してミーティングなどで共有する。 (地域の資源については、直接物作りとか祭りとかも、コロナの影響で直接向き合うことなく、資源については何ら浸透していない。) ・夜勤専従なので昼間がわかる事がない。 ・地域の資源が利用できていない。(日中のかかわりがないため。) ・地域の方との交流だとか少しずつ出来ることを見つけて今の状況でできることを実施していくことがまだ、十分にできていない。(コロナ禍の状況から、まだ実施していく加減が自分自身分かり辛い。) ・地域の資源のあらたな開拓はなかなかできていない。(コロナ禍で過去3年間で特に) ・関りが少ないのでご利用者の変化に気付いていない時がある。申し送りやスタッフ会の参加もあまりできていないので情報の共有もあまりできていない。(自分は利用者様がいつも変わらない様子に見えたりする時もあり、他の職員がその変化に気付く時がある。) ・記録を読んでいない時がある。(記録の目通しができていないかと思う。) ・地域の資源を使っていない。(地域の資源がどう言うものがあるか知らない。) ・利用者のその時の状態に合わせての柔軟な支援が出来ていない。その時のとるべき優先順位が違っていることがあった。(知識不足があると思う。) 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>「くりた子どもひみつきち」(地域の小学生の放課後の居場所)の子どもたちと行事を一緒に行い交流をもつ。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 10 月 18日 (9:30 ~11:00)

6. 連携・協働

メンバー 管理者1名、介護支援専門員2名、介護職員9名
(※サテライト事業所として自己評価対象職員10人)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		3人	4人	3人	10人

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"> ・地域での活動、イベントが再開されるものから参加する。 ・地域包括支援センターの会議や研修に参加し、事業所で継続している毎日の3分間研修で学びあう。
前回の改善計画に対する取組み結果
<p>地域のイベントについては地方祭でちょうちん行列やお神輿に入ってもらい神事を行ってもらうことができた。法人内ではあるが、久万ノ台の小規模の事業所と合同で地域のグラウンドをお借りして運動会を行う事ができた。圏域の地域包括主催の研修についてはほとんどケアマネのみの参加になった。3分間研修は継続して行っているが、ケアマネが参加した研修の資料を使っては行っていない。</p>

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか?		3人	1人	6人	10人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		1人	2人	7人	10人
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか?		1人	2人	7人	10人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		2人	2人	6人	10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍以前のようにできていないが、敬老会にボランティアが来所して頂いたり、地方祭で提灯行列やお神輿に入ってもらうことができた。 ・3分間研修の中で参加した時、学んでいる。 ・訪問看護の看護師の方が参加された担当者会で、個別の利用者の日常の関わりの中で新たに取り入れる事等、情報交換ができた。 ・地域の年度初めの総会への参加や地方祭で提灯行列、お神輿が入り、神事を行うなど神輿担ぎ手の中学生をはじめ、就学前、小学生、地域役員さんとの交流が再開できた。圏域の地域包括支援センター主催の研修会は可能な限り参加した。 ・利用者様のご家族さんが事業所内で話ができたり、外に出掛けられている。 ・福祉用具等の他事業所と連絡ができている。コロナが落ち着いて、久しぶりにお祭りやイベントが行えた。 ・今年は秋祭りのちょうちん行列で地区の子ども達にお菓子を配り、ふれあいができた。

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>自治体、町内会、地域包括などとの連携は出直し状態になっている。（コロナ禍以前はイベントで芋炊きで地域の地域の人たちを呼び集め、いろいろコミュニケーションを図っていたので、徐々に連携ができて、行事などにも参加出来れば良いと思う。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日中職場にいないので、地域のイベントなどの案内を見るくらいであまりわからない。 ・地域での活動などに参加できていない。（地域の方と触れ合う時間がほとんどない。） ・コロナ禍が少しずつ落ち着いてきて、徐々に地域の方との関りができつつあるが、まだ、以前の様には完全なものではない。（まだ、状況に合わせてならはじめてみないといけない為。） ・地域の子どもたちとの日々の交流はできていない。（イベント以外では事業所に入ってもらったこともしていない。） ・高齢者や子供たちが事業所を訪れることができていない。感染症の心配がまだ続いているのも原因だと思います。 ・勤務が遅出が多い為、3分間研修に参加できていない。 ・研修や3分間研修を意識していない。（職員は事業所の顔として意識することができていないから。） ・いろいろな会議に参加できていない。（そう言う機会がない。よくわからない。） 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>地域のイベントの一つでも多く参加して交流をもち、地域の方に一人でも多く事業所に足を運んで頂く機会を増やす。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 10 月 18日 (9:30 ~11:00)

7. 運営

メンバー 管理者1名、介護支援専門員2名、介護職員9名
(※サテライト事業所として自己評価対象職員10人)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1人	5人		4人	10人

前回の改善計画	<p>・毎月のスタッフ会でご家族、地域からの意見などについて会議の議題にし、職員間で話し合うようにする。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>コロナ禍での面会やその他の対応などは法人の会議で決定したことをその都度職員間で周知を図り対応した。ご利用者やご家族からの苦情についてはその都度、職員間で周知し、会議を開き、今後の対応について意見を出して勧めるようにした。ご利用者やご家族にも説明を行うように努めている。</p>

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか？	1人	5人	3人	1人	10人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	1人	4人	2人	3人	10人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？		5人	2人	3人	10人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？		1人	3人	6人	10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングなどで職員と意見交換し、共有し合った行動をしている。無理難題に関しては納得するまで議論し解決へと導いている。 ・利用者の家族からの苦情などを申し送りやスタッフ会などで出して話し合い、また、情報共有している。 ・ご家族からの苦情があった時、全職員で話し合い、苦情受付の処理をして、対策を考え実践した。ご家族にもフィードバックした。繰り返さないように折に触れて話をする機会を設けるように心がけている。 ・できているとははっきりとは言えませんが、前より職員としての意見を伝えられるようにはなってきたと思います。 ・分からない事、納得がいけないことは聞いている。 ・お互いが意見が言えるような事業所として運営で来ていると思う。ご家族からの苦情について相談を聴き、どう対処するか考えて取り組んでいる。 ・事業所のことで聞かれると少しは意見を言うことができると思う。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の苦情や意見などは直接向き合って話ができる機会がないため、情報源がない。（コロナ禍で直接向き合う機会がなく、コミュニケーションにも至っていない状態である。何か出会いの場を設ける提案を見つけるのが得策ではあるまいかと思う。） ・地域からの利用者さんは少ないし、地域のことは分からない。（夜勤専従の為、昼間はいない。） ・ご家族、地域からの意見などについて職員間で話し合うことはない。（日々の業務に追われ、会議として職員間で話し合う時間がとれない。） ・業務や勤務の状況でスタッフ会に参加する機会が減っているので話し合いの場にいれないことの方が多い。（自分の勤勤務の状況で参加できていない。） ・運営推進会議（文書開催）で頂いた地域の意見を議事録を通して全職員が目通しできておらず、また、伝えきれていない。（職員への議事録の周知ができていないこともある。） ・毎月のスタッフの参加。（子どもの体調不良、自分の体調不良が重なって参加できていません。） ・地域？（分かりません。） ・自分としての意見をはっきり言わない。（自分の意見と相手の意見をじっくり話せる環境を作りをする。） ・事業所に関わる方々の意見や苦情などを運営に反映することなどはできていないと思う。地域の方との協働した取り組みは行えていない。（運営に関するなどはよくわからない。地域の方との交流があまりない。） 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で中止していたご家族や地域の方が参加できる行事を徐々に再開し、事業所の活動状況や運営のいついてご理解やご意見を頂く。運営推進会議の参加もお願いする。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 10 月 18日 (9:30 ~11:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 管理者1名、介護支援専門員2名、介護職員9名
(※サテライト事業所として自己評価対象職員10人)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?		4人	5人	1人	10人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・持ち上げない移動、移乗の技術を学ぶ。 ・ユマニチュードの技法を学ぶ。
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>持ちあげない介護については移乗時に移乗ボードやスライディングシート等の活用を職員間で学びの時間を設けて行っている。ユマニチュードの技法を学ぶことについては年に1~2回、同じ資料になるが3分間研修で学び直す時間を設けている。11月度になるが、専門の講師を招いて人選し、5日間の現場実習をしながら哲学、技法を学ぶように予定を入れている。</p>

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	1人	5人	3人	1人	10人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		5人	4人	1人	10人
③	地域連絡会に参加していますか		1人	2人	7人	10人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		6人	2人	2人	10人

できている点	<p>200字程度で、できていることと、その理由を記入すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リスクマネジメントではケアに関する事故もなく、本人に対する財産及び危機的な損害も直接触れていないし、事故防止の3つのロック、①フィジカル②スピーチ③ドラッグに対しても職員間でミーティング等で意見交換して防止して活動出来ている。 ・一人で介護に不安な時は上司や同僚に相談して、その都度対応している。 ・ユマニチュードに関して3分間研修で資料の読み合わせを実施した。 ・研修はリモートも対面も自身の仕事が休みの日も利用してできるだけ参加している。 ・事故に繋がらないよう、利用者の介助を行うこと。 ・研修に日にちが合えば行っている。個人的にはスキルアップの研修に参加している。(レクレーション等) ・年に1~2回研修参加できている。利用者が安全に過ごせるように見守りができている。 ・事故やヒヤリハットの報告があれば、しっかり頭にいれる。どうして起きてしまったかを自分なりに考えるようにしている。他の職員の意見も参考にしてリスクマネジメントに取り組めたと思う。
--------	--

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・研修に関しては可能な限り参加もしているが、その時だけで学んだことを忘れていたり、実践に繋がれていない。(自らも活発に啓発やチャレンジなどに挑戦できていない。時間的に余裕が欲しい。皆と共有できる場が欲しい。) ・地域連絡会は機会がないし、あまりわからない。 ・研修はまだ、参加できていない。(申し込みはしている。) ・スキルアップのための研修に参加ができていない。(自分自身の目標がしっかり持っていない。) ・自ら参加した外部研修の資料を元に学ぶ機会がなかなか持てていない。(時間が作れていない。資料を共有すること自体を忘れている。) ・持ち上げない移動。(慣れを優先してしまい、抱きかかえる介助をしてしまう。) ・地域の連絡会自体知らない。 ・外部研修に参加できていない。(仕事が休みの日に予定が入っており、なかなか難しい。研修案内が確認できていない。) ・移動と移乗の際、利用者を持ち上げている。(移乗時などは落とすといけなかついっつい力が入る。) 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>ユマニチュワードの哲学、技法を専門家から学びケアに生かす。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年 10 月 18日 (9:30 ~11:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 管理者1名、介護支援専門員2名、介護職員9名
(※サテライト事業所として自己評価対象職員10人)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?		8人	1人	1人	10人

前回の改善計画	・事業所内での職員の言動、声の大きさは周囲に配慮しながら行う。(トイレ誘導、介助時・ミーティング・申し送り等)
前回の改善計画に対する取組み結果	職員の声の大きさには個人差もあり、周囲に配慮が足りないと思うことはちょくちょくあるが、お互いに指摘して気付いてもらうようにしている。スタッフ会では毎月、ケアの気付きについて意見を出したり、研修等で学んだことは3分間研修が主にはなるが学び合うように継続できている。

◆今回の自己評価の状況

確認のためのチェック項目	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 身体拘束をしていない	2人	7人	1人		10人
② 虐待は行われていない	2人	7人	1人		10人
③ プライバシーが守られている	2人	6人	2人		10人
④ 必要な方に成年後見制度を活用している	2人	5人	1人	2人	10人
⑤ 適正な個人情報の管理ができている	2人	8人			10人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・虐待は主体の行動や尊厳のある生活に務めており、利用者の想いを汲み取り本人の意向に沿った支援を実行している。 ・身体拘束、虐待などはしていない。尚、プライバシーは常に守っている。 ・今回、身体拘束等適正化委員会の事例発表の担当になり、夜勤者へのスピーチロックのテーマとしてのアンケート調査を行い、今の現状と振り返りの機会となり、改善していく一歩となる機会になった。 ・成年後見制度を活用している。担当の方との継続した連携もとれている。プライバシーに繋がることはその都度職員間で周知を図っている。個人情報にあたる書類などは適正に扱っている。 ・身体拘束や虐待を行わない事。 ・介護士としての必要なことは勉強できている。 ・利用者のプライバシーを守るため、声の大きさに気をつける。 ・トイレ誘導、介助時など利用者へ声掛けする。声の大きさは周囲に配慮しながら行えている。 	

できていない点	200字程度で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者に対しての執拗に要件を責められた時が感情的になり、スピーチロックを吐いてしまう時がある。（身体拘束を誘発する原因を探り出せてなく、状況に応じて理由や原因を探り、除去できる状態でない。） ・利用者さんの宿泊部屋の戸を開けたままにしている時がある。（利用者さんのパット交換時、本当は部屋の戸を締めておかないといけないが、職員一人の場合は他の利用者さんの言動を聞くため、開けている場合がある。） ・トイレ誘導などの際、利用者の方・周囲の方への配慮にかけることがある。（無意識に声の音量が調整できていない。目の前の介助のみに集中しすぎてしまう。） ・ケア中に時々大きな声になる。申し送り時に配慮に欠けていることもある。（元々の声の大きさと話し出したら周りが見えていないことがある。） ・声掛けだけの利用者の対応時、適切でない時もあるかもしれない。（とっさに「まだですよ」とか「待ってください」とか言ってしまう。目上の方の礼儀にもかける時があるように自分でも思ってしまう時がある。） ・少し声が大きいので控える。（わかりません。） ・虐待ではないけれど、声をかけないで見てみぬふりの行動があった。（利用者さんが通る場所を確認しながら声をかけていない。） ・ミーティングや申し送り時に利用者の名前を出して言ってしまっているのでイニシャルとかで伝えた方が良かったと思う時があるので、気をつけたい。（申し送り事に気を取られてそこまで頭が回っていないので。） 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>毎月のスタッフ会の議題に身体拘束や虐待につながるようなケア、言動も含めて入れ振り返る。良いケアや対応についてチームで継続できるように評価を行う。</p>	